

「新しい生活はくるのか」－最終弁論①－

「新しい生活はこない」側の最終弁論

司会 では、これから新しい生活はこない側の最終弁論に入ります。時間は3分です。

今までの結果から、新しい生活はこないという根拠が3つあります。

一つめとしては、時代背景と現実的な面から見た点です。この頃の時代背景を見ると、日清戦争、アヘン戦争、辛亥革命など国外や国内の争いが絶えないようなもので、現実的から見ても絶対にありえないということです。

二つめは、シュイションとホンルの二人に自分たちの希望を託したとしても、完全な人間ではないので、自然の法則から考えてもシュイションにルントウの「だんなさま」が受け継がれる可能性は高いということです。

三つめとしては、生活が豊かになり、金も娯楽もたくさんあるようになったら本当に幸せな生活が送れるかという点です。

お手元の参考資料をご覧ください。金は紙やアルミやプラスチックなどでできていて、結局はただの物ではないのでしょうか。また世の中を見ると、参考資料の道徳の崩壊の下にあるように、戦争がなくなっても不安定な世の中のままというのは否めないのではないのでしょうか。また、参考資料にあるように、目標を追求しても最後には悲しい結果があるだけです。さらに、快楽を求めても家族の世話をしなかったり、仕事に熱中しすぎるとそれもまた悲しい結果になります。

これまでの証拠から、新しい生活は絶対にこないと思います。時代背景から見ても新しい生活どころではないのではないのでしょうか。おおげさに言っていると思う人もいますが、資料を見ると実によく合っている内容だと思います。

また、新しい生活とは何かという疑問もありますが、個人的な意見からすると、シュイションとホンルが身分は違っていても真の友でいて、よく働き収入も十分にある、家族を持ち、娯楽もある程度あるということだと思います。

だから、金や娯楽や家族の問題がないとは言えないし、また、ほとんどの人がそれらのことで苦しんでいるので、時代は今よりだいぶ前だけれど、今の人間は幸せに暮らしているようで、逆に問題も抱えているので、基本的には同じだと考えます。だから、新しい生活を追い求めても、それは空を追うようなもので現実には甘くないし悲しい生活を送るだけだと思います。

それで、余談ですが日本で制作された連続テレビドラマ「おしん」の時間になると東南アジアの大勢のお手伝いの少女が、仕事をそっちのけで見るということです。ですから、このような人たちが夢見ているような新しい生活の大部分は現実とはだいぶ離れた単なる夢に過ぎないのではないのでしょうか。ですからどう考えても、調べても、絶対に新しい生活はきません。

以上をもちまして、こない側の最終弁論を終わります。

司会 ありがとうございます。時間は2分50秒でした。